

元名古屋グランパスヘッドコーチ 森一哉 氏のクリニック

基本技術の大切さを学んだ濃密な1時間

男子サッカー部 97名が11月14日（木）、15日（金）の2日間、森一哉氏のクリニックを受講しました。森一哉氏は、慶應義塾大学法学部を卒業後、川崎フロンターレで現役を引退し、その後同クラブの育成年代のコーチを経て、2014年からトップチームコーチ、2017年から名古屋グランパストップチームヘッドコーチを務めた先生です。

クリニックのテーマは、ボールを「止める」「運ぶ」という基本技術。テンポよく進むトレーニングの中で、森氏の示唆に富むコーチングを受け、日常、当たり前前に出来ているものと思いがちな基本技術を高い「意識」で日々磨いていくことの重要性を学びました。クリニックの最後には、成功している選手でも、基本技術の更なる習得に取り組み、パフォーマンスをさらに向上させているというお話も伺いました。生徒からは、「これまで自分が出来ていると思っていたことも、意識を高くすると、まだ出来ていないということに気づいた。」「プロ選手でもこのような基本技術の習得に取り組んでいると伺って、自分自身ももっと努力したいと思った。」といった感想がありました。一人一人が意識を高く持ち「自立」した選手となることを目指し、今後も精進してまいります。

